

2017年10月26日

2017年度（平成30年3月期） 第2四半期決算 説明会

※2019年2月14日付の「有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」に伴い、本資料を訂正
訂正箇所には、**訂正** を付しております。

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next

I. 2017年度第2四半期決算について

【決算概要】

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、
海外地域別、対計画の偏差理由、受注・立上状況

II. 2017年度通期計画について

【通期計画】

全体概要、営業戦略、海外事業、オート事業、
重量機工事業、SgHとの協創プロジェクト、スマートロジスティクス

III. 補足資料について

財政状態、キャッシュ・フローの状況、主要財務指標・営業費用 他

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2016年度		2017年度				
	第2四半期累計		第2四半期累計		通期		
	実績		実績	前年同期比	計画比	計画(10.26修正)	前期比
売上収益		3,247	3,437	106%	104%	6,900	104%
営業利益	<4.5>	145.0	<4.1> 140.5	97%	105%	<4.3> 295.0	100%
EBIT (受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益)	<4.6>	149.0	<4.6> 156.9	105%	109%	<4.7> 321.0	102%
親会社株主に帰属する 四半期利益	<2.7>	88.6	<2.7> 93.3	105%	106%	<2.9> 200.0	107%

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

(単位 : 億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%), ()内は増減差)

		売上収益			営業利益		
		第2四半期累計	前年同期比	第2四半期累計	前年同期比		
オーガニック	国内物流	<58>	1,716	101%	91.2	93%	
	国際物流	海外	<30>	880	117%	24.8	107%
		フォワーディング他	<9>	257	109%	3.9	160%
	計	<38>	1,137	115%	28.7	112%	
	その他(物流周辺事業等)	<4>	108	100%	8.2	89%	
計		<100>	2,961	106%	128.1	96%	
バンテックグループ	国内物流	<66>	352	101%	14.8	115%	
	国際物流	海外	<34>	183	117%	2.9	63%
		フォワーディング他	<0>	1	82%	0.0	-
	計	<34>	184	116%	2.9	63%	
計		<100>	535	106%	17.6	102%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-60	(-11)	-5.3	(-0.1)	
合計	国内物流	<60>	2,054	101%	101.7	95%	
	国際物流	海外	<30>	1,034	116%	26.7	99%
		フォワーディング他	<7>	243	108%	3.9	160%
	計	<37>	1,277	115%	30.6	104%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	105	100%	8.2	89%	
計		<100>	3,437	106%	140.5	97%	

 先行投資
 (-8億)を含む

第2四半期累計
売上収益実績

(億円)

16/2Q累計→17/2Q累計

- ・USD: ¥105 → ¥111
- ・EUR: ¥118 → ¥126
- ・CNY: ¥15.9 → ¥16.4

為替影響
+59

- ・国内事業 : ▲50億
- ・ワーディング/海外事業 : +76億
- ・受託領域拡大 : +19億

環境変化・物量増減
・恒常施策他
+44

新規受注
+57

- 国内 : +33億
- 国際 : +24億

協創
+30

+87

3,437

3,247

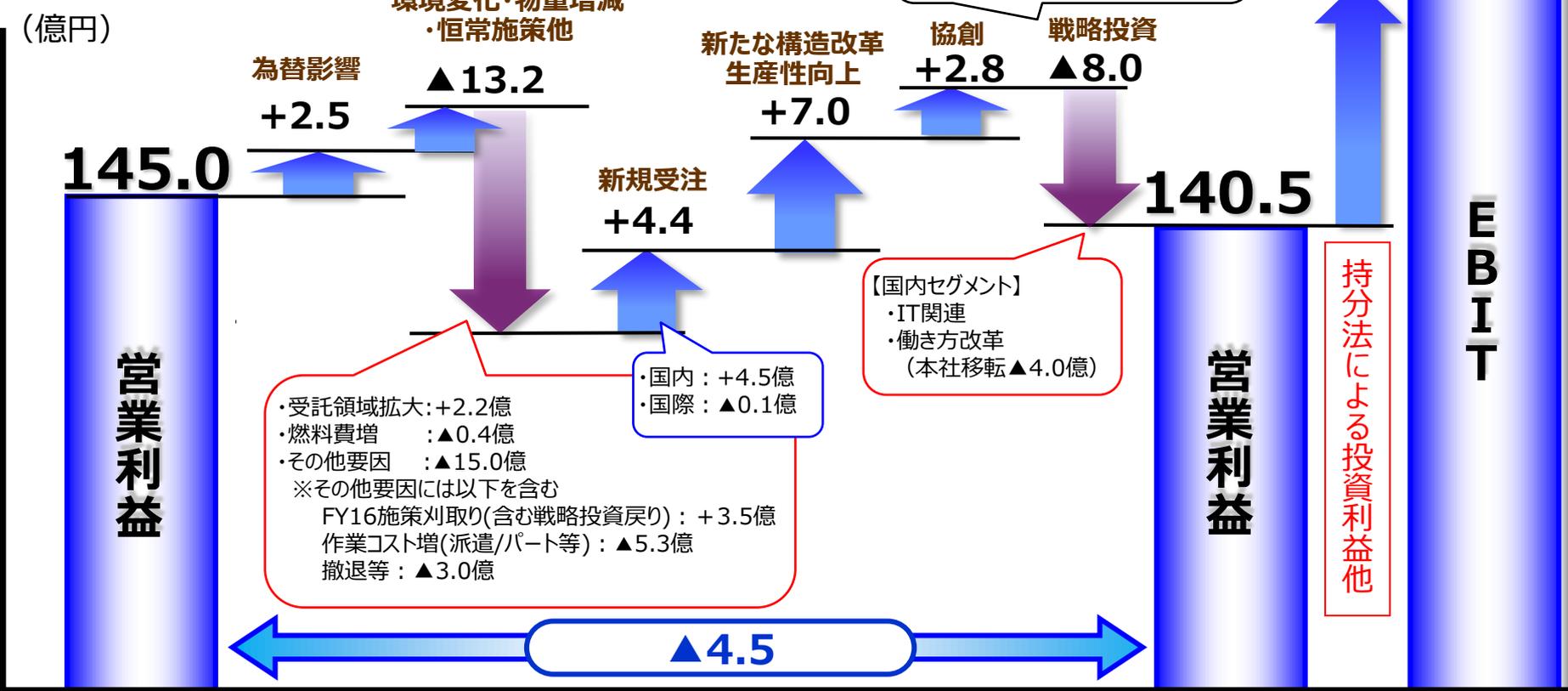
+190

項目	為替影響	反復推進項目・環境変化・物量			新規受注	協創案件	計
		その他物量増減他	受託領域拡大	小計			
国内		-50	16	-34	33	27	26
国際	59	76	3	79	24	3	165
その他		-0		-0			-0
計	59	25	19	44	57	30	190

2016年度2Q累計(実績)

2017年度2Q累計(実績)

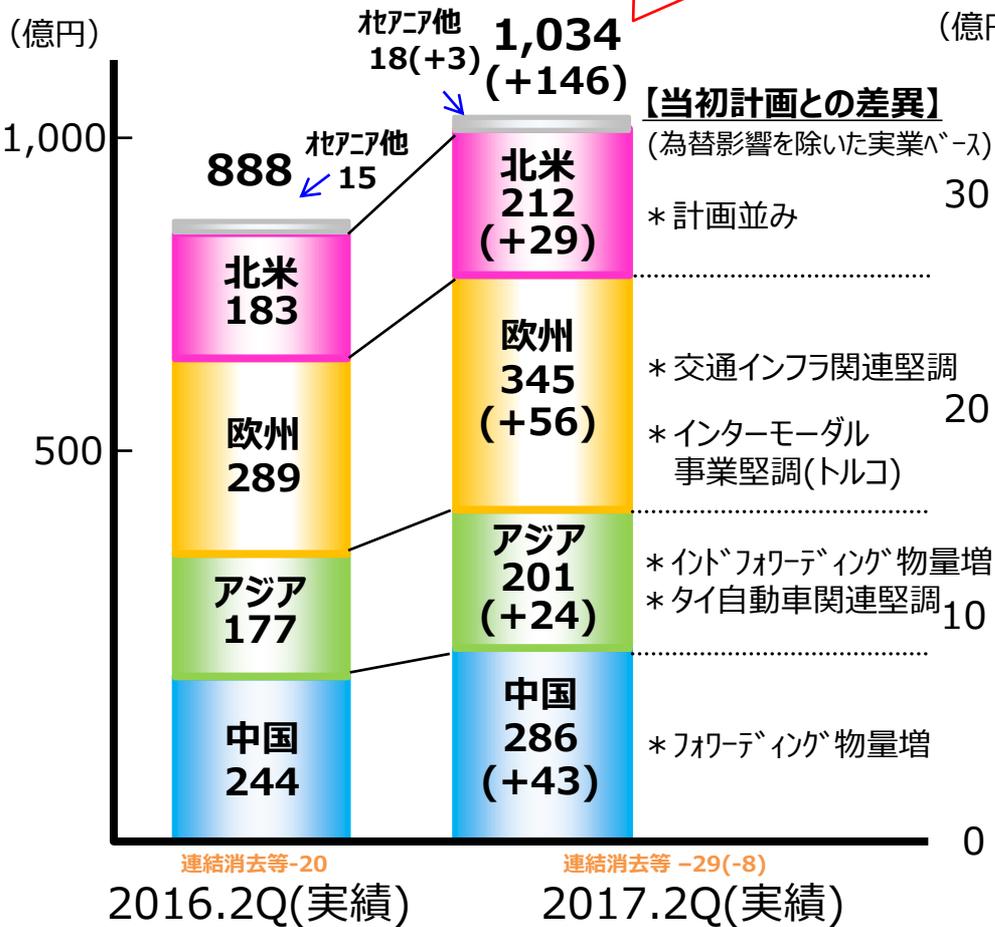
**第2四半期累計
営業利益実績**



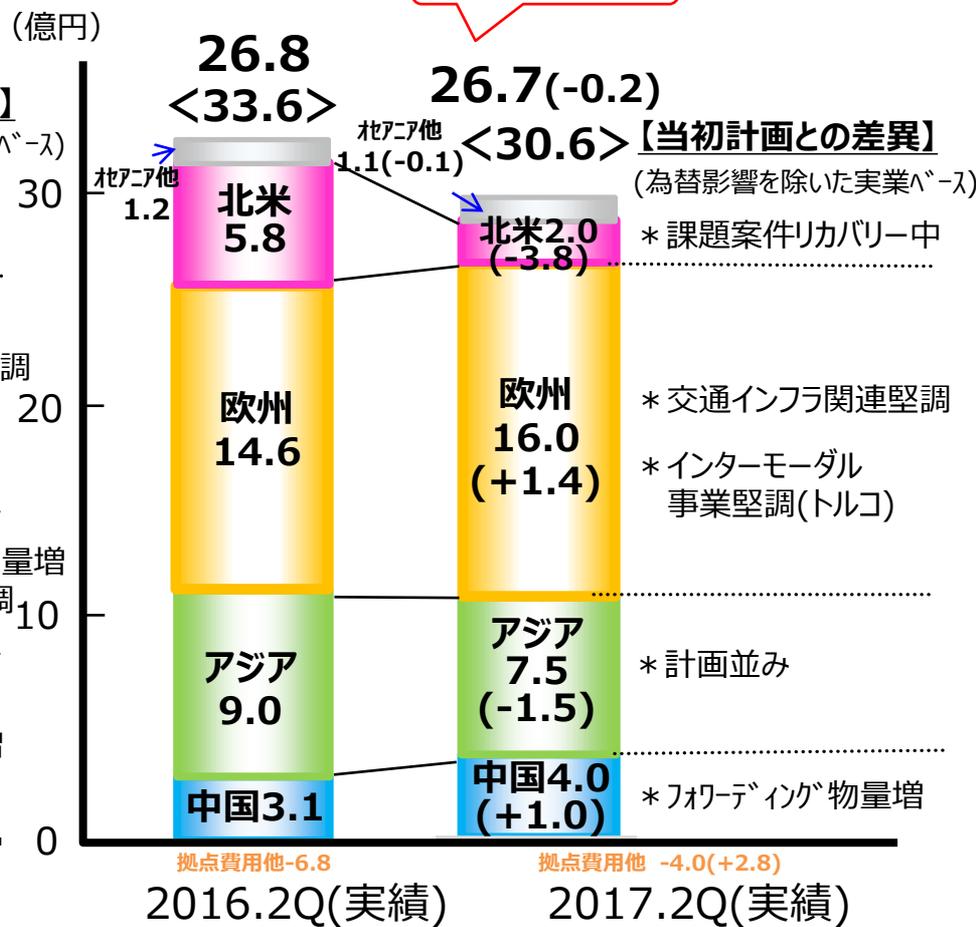
2016年度2Q累計(実績)

2017年度2Q累計(実績)

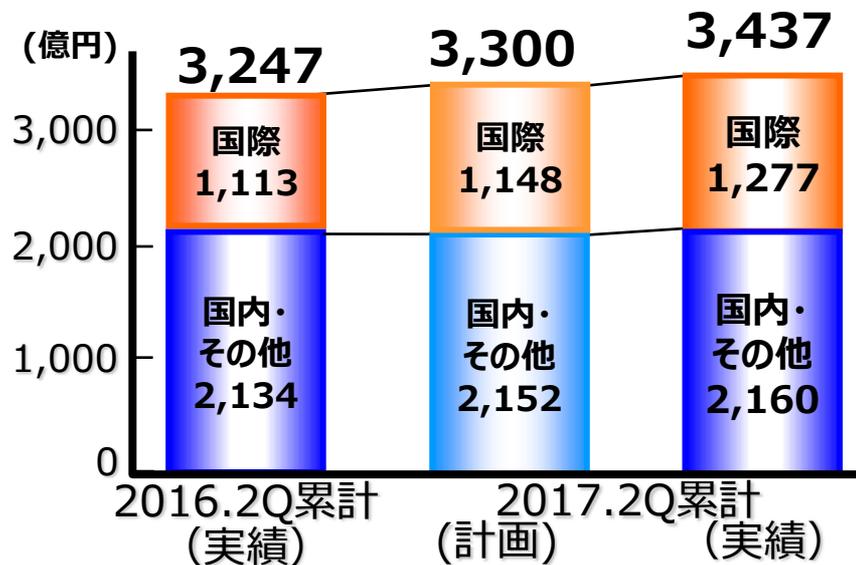
売上収益



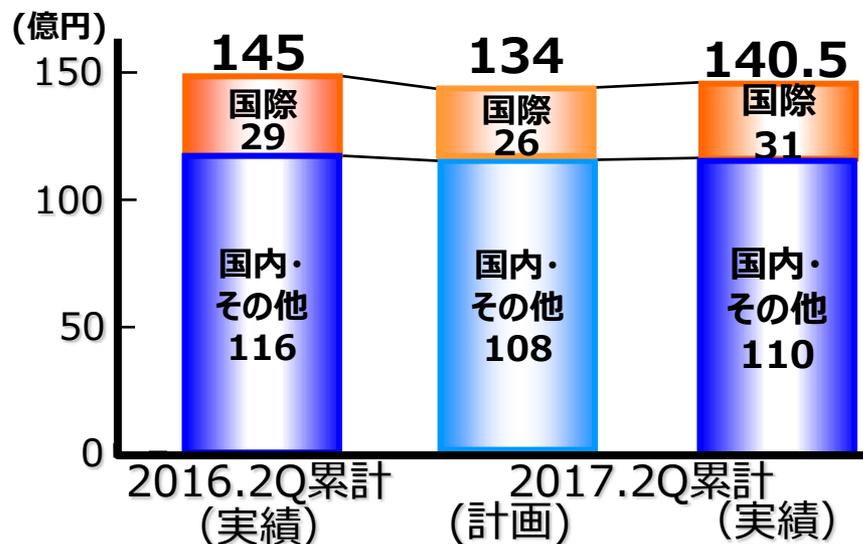
営業利益



売上収益



営業利益



対計画比+137億円

* 国際 +129億円

〔 為替影響 +103億円
フォワーディング物量増等 +26億円 〕

* 国内他 +8億円

〔 新規案件・物量増 等+8億円 〕

売上収益・営業利益ともに
為替影響を除けば計画に
沿った進捗

【計画】→【2Q累計】
USD: ¥105→¥111
EUR: ¥110→¥126
CNY: ¥15→¥16.4

対計画比+6.5億円

* 国際 +5.0億円

〔 為替影響+4.5億円
フォワーディング物量増等 +0.5億円 〕

* 国内他 +1.5億円

〔 作業生産性向上・投資期ズレ等 +1.5億円 〕

2017年度2Q累計：受注・立上状況

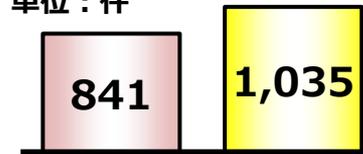
単位：件

		2016年度	2017年度	
		第2四半期累計	第2四半期累計	前年同期増減
立上	国内	11	3	-8
	国際	2	4	2
	計	13	7	-6
受注	国内	4	16	12
	国際	2	5	3
	計	6	21	15

(参考) 国内本部受注件数の推移 <新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>

* 地域密着営業の強化により、地域における案件獲得は着実に進展

単位：件


2016.2Q累計
2017.2Q累計

・10M¥未満案件：835件(継続:82件 単発:753件)→1,030件(継続:146件 単発:884件)

・10M¥以上案件：6件(継続:6件 単発:0件)→5件(継続:3件 単発:2件)

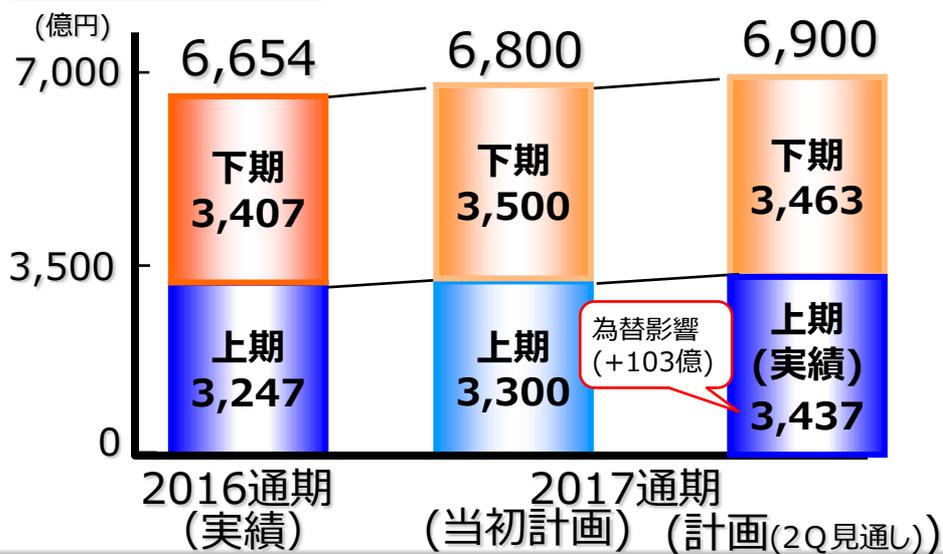
2016.2Q累計 2017.2Q累計

計画値

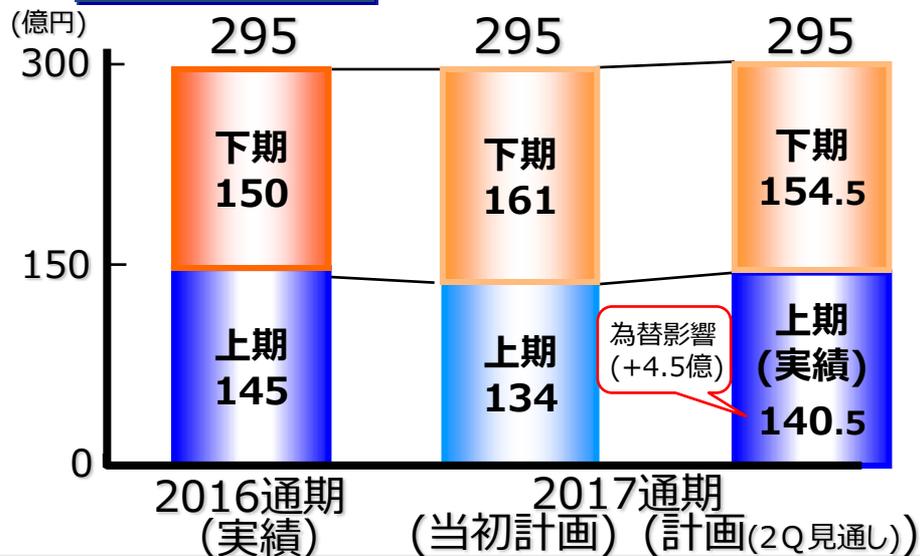
売上収益：6,900億円
営業利益：295億円

2017.10.26修正

売上収益



営業利益



売上収益：新規案件・協創効果の発現や事業リスク顕在化も含め下期は当初計画並みを想定
 上期実績を踏まえ修正 <通期：6,800億円→6,900億円 (⊕100億円)>

営業利益：上期実績に対し、「外部環境リスク」「成長に向けての戦略投資」等を
 織り込み、通期としては当初計画並みを想定

【為替(想定)】
 …変更なし…
 USD: ¥105
 EUR: ¥110
 CNY: ¥15

新ビジネスモデル構築

■ LLP※1戦略

“コンサルティング力と3PL実業を備えたLLPを高次元で提供(サプライチェーンを横断的に見える化)”

＜サービスメニュー＞ ～IT連携～

【デザイン】

- ・最適化設計 ・改善計画立案

【マネジメント】

- ・物流パートナー管理 (KPI)
- ・サプライヤー管理 ・予算策定支援

【オペレーション】

- ・荷主業務の代行(輸配送手配・運用)
- ・3 PL実業

■ EC向けプラットフォームセンター

顧客の売上増・コア注力を実現するサービス

- ・省人化設備 (Racrew※2/自動梱包他) 導入
- ・24H稼働 (設備等シェアによるローコスト運営)
- ・物流+αサービス提供 (受注代行、協創連携)
- ・返品専用センター (コア作業への特化を支援)

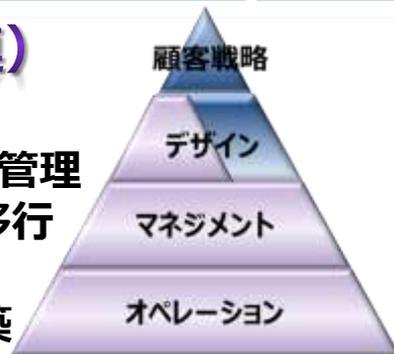
※1 Lead Logistics Providerの略

※2「Racrew」は(株)日立製作所の日本国内の登録商標です。

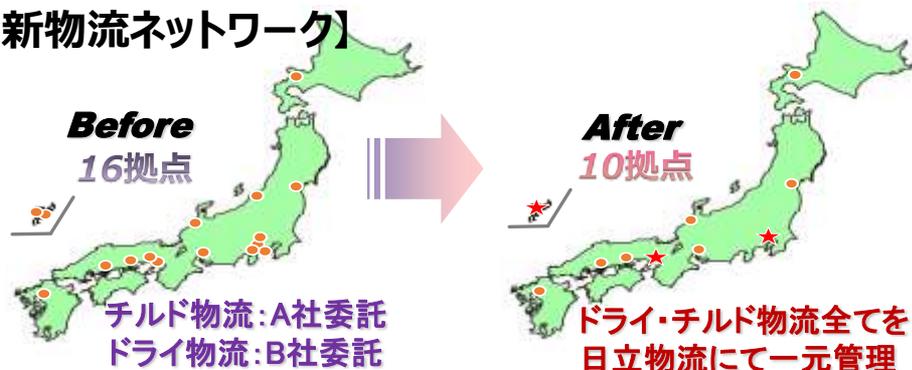
LLP事例紹介 (飲食関連)

【コンセプト】

- ✓全国ネットワーク構築と継続的管理
- ✓新ネットワークへのスムーズな移行
- ✓フレキシブルな拠点・配送体制
- ✓物流コスト最適化・透明性構築



【新物流ネットワーク】



■ 顧客成長を見据えた、拠点配置・センター統合を実施



プロロジスパーク大阪4

【新関西DC (仮称)】

2018年2月 稼働予定

稼働10年後を見据えた
関西ドライ・チルド統合センター

欧州

- ブリジットルコ拡大
(欧州⇔中央アジア間輸送)
- ・自動車関連顧客を中心に
ビジネスが拡大



MARS本社倉庫/イスタンブール

北米

- 3PL事業の拡大
 - ・ECセンター化構想
 - ・スマートロジスティクス実装
 - ・東海岸地区センター構想



ポモナDC/カリフォルニア

域内での持続的成長へ

アジア

- コールドチェーン拡大
 - ・新規チルドセンター開設
(マレーシア/ニライ地区)
- CBT事業の拡大
(SgHとの協創等)



ニライチルドセンター/マレーシア
(2018年11月稼働予定)

中国

- 内陸地域への進出
 - ・西安物流センター稼働
店舗/EC向け保管・西北部配送ハブ
 - ・西安分公司(支店)設立



西北物流センター/西安

国内事業

【関東エリアでの事業リソース拡充】

■ 北米向け補修部品輸出 X D 業務

所在地 : 群馬県
開始時期 : 2017年1月～
業務概要 : 補修部品センターの庫内運営
(小・中型部品～大型部品)



■ 汎用エンジン補修部品物流業務

所在地 : 埼玉県
開始時期 : 2017年6月～
業務概要 : エンジンの補修部品センターの
庫内運営・配送業務



海外事業

■ タイ工場向け調達物流業務

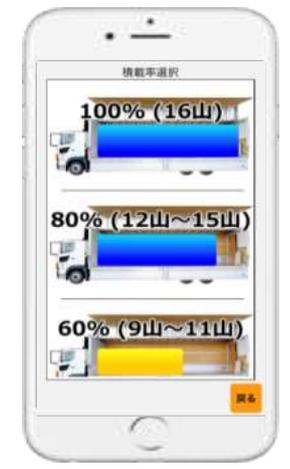
開始時期 : 2017年10月～

業務概要 : 調達物流業務

※モバイル輸送システム(TMS)導入による
積載効率向上

(データ蓄積～分析～ルート見直～積載率向上)

既存領域 : タイ日産自動車向け
拡大領域 : タイ三菱自動車向け



電力インフラ事業

- インドネシアプロジェクト（大型火力案件）
 - ・コンソーシアム戦略
（コンソーシアムリーダーとしてのPJ全体管理）
 - ・PJ運営のパッケージ化
- 同業他社との協創
 - ・欧州向けガスタービンローター輸送での協業



交通インフラ事業

- PJ課題解決力+コスト競争力によるアプローチ
 - ・英国（IEP）・中国（車両部品輸送）
 - ・カタール（ドーハメトロ）・タイ（レッドライン）
- 新たな地域への進出・新事業の掘り起し
 - ・バングラディッシュ・エジプト・中米パナマ
 - ・車両メンテナンス/保守車両輸送

機工事業・環境事業

- 自動車産業向け機工作業の拡大
 - ・工場内機工作業
 - ・部品メーカー生産設備
- 再生資源物流の拡大
 - ・新規航路開拓（モーダルシフト）
 - ・新型コンテナの開発



戦略投資

- 国内でのアセット投資による新領域進出（多軸式トレーラ他）
 - ・発電所（構内運搬）
 - ・同業他社との協創
 - ・生産工程間でのモジュール運搬



電力インフラ事業

Caribbean Gas Chemical Limited(CGCL社)納め メタノールDMEプラント輸送案件



シームレスな総合物流サービスの実現に向けた協創・協業の推進

**BtoB 3PLを強化する
新規取り組み**
新たな補完関係の構築
成功事例の横展開

項目		2016年度 通期実績		2017年度				通期目標	
				2Q累計実績		3Q・4Q想定			
		売上 収益	営業 利益	売上 収益	営業 利益	売上 収益	営業 利益	売上 収益	営業 利益
3PL・輸送	クロスセル・効率化	18	1.2	26	2.4	42	2.9	68	5.3
フォワーディング	新サービス(スマート・インポート)等	1	0.2	3	0.2	4	0.7	7	1.0
重量・機工	新規・未受注分野	0.5	0.1	0.6	0.1	0.4	0.0	1	0.1
その他	車両リース、トラベル事業等	0.3	0.0	1.0	0.1	0.7	0.1	2	0.2
クロスセル案件 (提案中)		-	-	-	-	72	3.4	72	3.4
協創効果		20億	(7.5%) 1.5億	30億	(9.4%) 2.8億	120億	(6.0%) 7.2億	150億	(6.7%) 10億

()内は営業利益率

[参考] 持分法投資利益 (佐川急便(株)含む)

37億

22億

-

40億超


佐川急便(株) 配当金

クロスセル案件の協業推進

「3 PL+デリバリーの融合」をキーに
顧客にワンストップサービスを提供

■ 新規受注（抜粋）

業界：流通

概要：当社:倉庫運営 SgH:配送

時期：2018年3月稼働予定

■ 提案中案件

業界：アパレル

提案：物流最適化（物流拠点統合等）

※上記案件のほか、「流通・小売」「食品」
「アパレル」等の案件を提案中

フォワーディングにおける協業

国内外代理店の最適活用

■ 新規受注（抜粋）

米国発着案件の受託
（パキスタン・インド発→米国着）

重量機工における協業

■ 協業事例（抜粋）



提案中（推進中）案件：約210億円(年間寄与)

日立グループ工場内における納品業務の受託

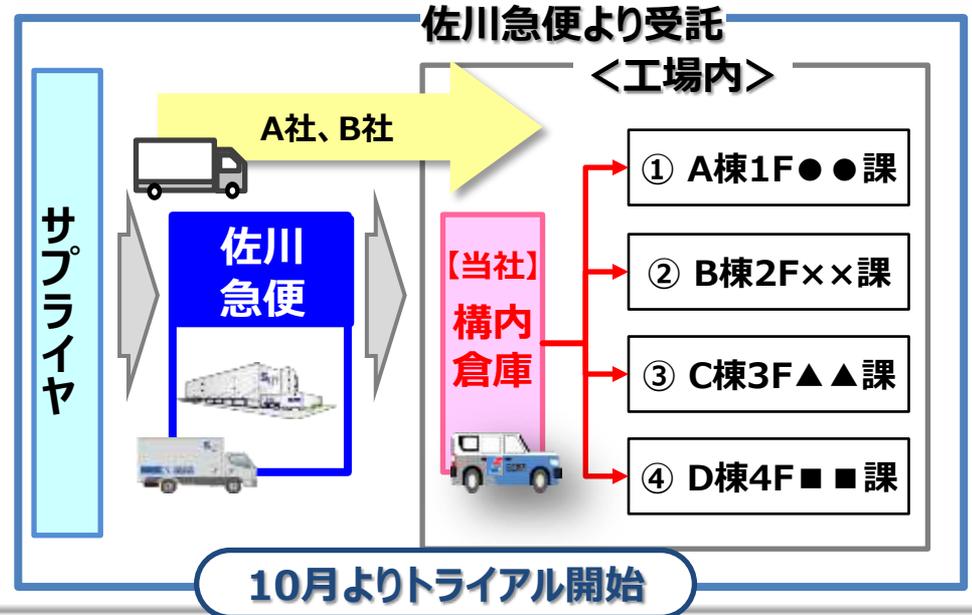
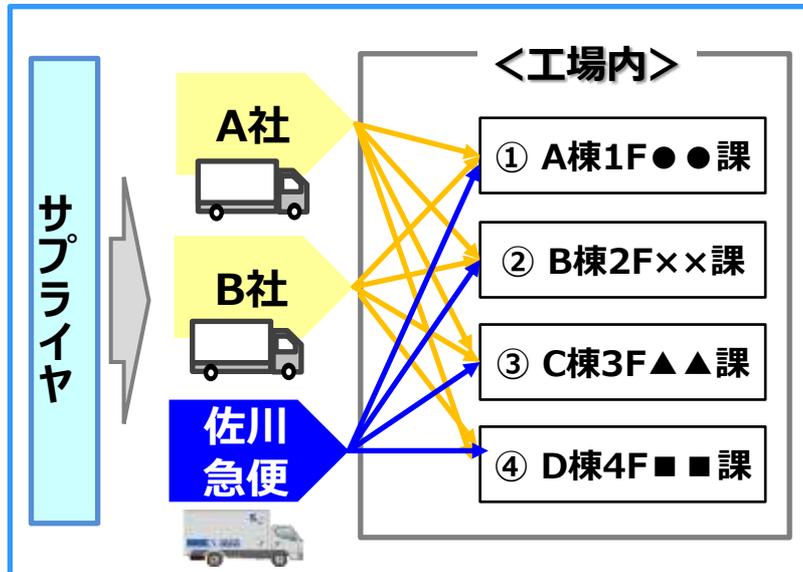
当社工場構内物流と佐川急便「スマート納品®」の融合

佐川急便ドライバーが
工場到着後、工場内の複数部署に納品

工場内の当社営業所が、場内納品を代行

当社:構内ネットワーク有効活用
(配送料収受)

SgH:車両稼働率向上
(工場到着後、他配送へ)



R&Dセンター（新技術の実践導入を加速）

5月:2拠点目 本格稼働



● Racrew

6月:トライアル導入



● 自律型無人フォークリフト

10月:実践導入



● 追従型 A G V

9月:協業契約締結
(協業先:(株)Doog)

2017年度中:トライアル導入予定



● 画像認識デパレタイザー

2017年度:検証中

- **ピースピッキングロボット:**
拠点導入の基礎技術確立
(ピース把持の汎用技術開発等)
- **RFID/ドローン活用:**
RFID検品作業への活用
ドローンによる在庫棚卸検証
- **自動検品システム(バーコード一括読取り等):**
拠点導入に向けた画像検品精度
の向上等
- **自動梱包:**
拠点導入に必要な運用確立
(商品投入工程の自動化等)



左の二次元コードからもスマートロジスティクスのご紹介動画をご覧頂けます。
http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/solution/sm-artlogistics/smart_movie06.html

関西第二メディカル物流センター

■ 2018年2月 稼働予定



外観(建設中)

ロータリーピースソータ・
移動ラック、無人フォーク
を導入予定
「設備稼働率の最大化」



食堂

働きやすい職場環境の整備
(食堂の充実、Wi-Fi完備等)

富山Ⅳ期物流センター(増築)

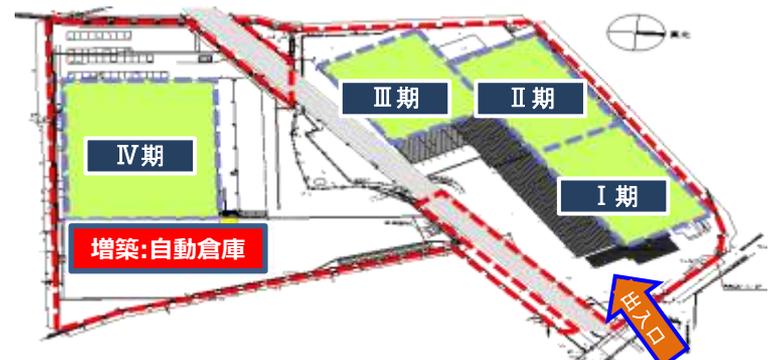
■ 2019年 稼働予定



パレット自動倉庫

デパレタイザー、無人フォーク、
オートラベラーを導入予定
**自動倉庫を活用した
次世代モデルセンターの構築
(省人化→無人化へ)**

【富山物流センター配置図】



新技術実装による省人化物流センター・働きやすい職場環境へ

補足資料について

＜財政状態、キャッシュ・フローの状況 他＞

(単位：億円)

項目	2016年度	2017年度	
	通 期	第2四半期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,049	2,046	-3
非流動資産	3,451	3,461	10
資産の部合計	5,499	5,507	8
(負債の部)			
流動負債 訂正	1,511	1,420	-91
非流動負債 訂正	2,079	2,099	20
負債の部合計 訂正	3,590	3,519	-71
(資本の部)			
親会社株主持分 訂正	1,875	1,951	76
非支配持分 訂正	34	36	2
資本の部合計 訂正	1,909	1,987	78
負債・資本の部合計	5,499	5,507	8

(単位：億円)

項目	2016年度	2017年度	
	第2四半期累計	第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	72	100	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	-680	-44	636
財務活動によるキャッシュ・フロー	617	-120	-736
現金及び現金同等物に係る換算差額	-18	11	29
現金及び現金同等物の増減	-9	-53	-44
現金及び現金同等物の期首残高	451	575	123
現金及び現金同等物の期末残高	442	522	80

主要財務指標等

項目		2016年度	2017年度 第2四半期
親会社株主持分 (○は親会社株主持分比率(%))	訂正 (億円)	34.1 1,875	35.4 1,951
1株当たり親会社株主持分	訂正 (円)	1,680.70	1,749.01
基本的1株当たり親会社株主に に帰属する四半期利益	(円)	167.66	83.68
親会社株主持分 四半期利益率 (ROE)	訂正 (%)	10.3	9.8*
総資産利益率 (ROA)	(%)	3.7	3.4*
株価資本合計倍率 (PBR)	訂正 (倍)	1.38	1.49

※ 年換算

主要営業費用

(単位：億円、()内は構成比(%))

項目	2016年度		2017年度			
	第2四半期累計		第2四半期累計		前年同期	
					比率	増減
外注費	(50.2)	1,629.6	(51.5)	1,769.0	109%	139.3
人件費	(24.7)	802.1	(24.1)	829.0	103%	26.9
賃借料	(7.7)	251.0	(7.3)	252.3	100%	1.2
償却費	(2.8)	91.6	(2.7)	94.2	103%	2.6

設備投資

(単位：億円)

項目	2016年度		2017年度	
	第2四半期累計	通 期	第2四半期累計	通 期 (計 画)
自家投資額 ※1	82.3	156.7	49.3	204.5
(参考) 賃借 ※2	107.9	217.7	107.2	390.0
(参考) 減価償却費	91.6	187.4	94.2	192.2

※1.固定資産計上ベース ※2.契約年数換算値

(参考) 人員※1

(単位：人)

項目	2016年度		2017年度	
	第2四半期末	通 期	第2四半期末	通 期 (計 画)
社員	25,344	25,274	25,385	26,279
パート・派遣社員等※2	22,430	22,665	22,689	22,536
計	47,774	47,939	48,074	48,815

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

参考資料
業態別実績 (概算値)

() 内は顧客関連資産償却費を除く (単位：億円)

		2016年度 第2四半期累計			2017年度 第2四半期累計			2017年度 通期計画(10.26修正)			
		売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	
	国内	1,706	90.8	5.3%	1,718	84.1	4.9% (4.9%)	3,512	186.7	5.3% (5.4%)	
	海外	545	27.4	5.0%	612	26.2	4.3% (4.6%)	1,191	45.8	3.8% (4.1%)	
	3PL	2,251	118.2	5.3%	2,330	110.3	4.7% (4.9%)	4,704	232.6	4.9% (5.0%)	
	国内	222	2.8	1.3%	246	4.8	2.0% (2.9%)	489	7.1	1.5% (2.4%)	
	海外	250	2.1	0.9%	307	3.5	1.1% (2.1%)	570	5.1	0.9% (2.0%)	
	フォワーディング	473	5.0	1.0%	553	8.3	1.5% (2.4%)	1,058	12.2	1.2% (2.2%)	
	国内	328	7.3	2.2%	333	10.1	3.0% (4.3%)	692	22.6	3.3% (4.5%)	
	海外	95	3.0	3.2%	114	1.0	0.9% (1.3%)	228	4.7	2.1% (2.5%)	
	オート	423	10.3	2.4%	447	11.2	2.5% (3.6%)	920	27.3	3.0% (4.0%)	
	その他サービス	100	11.5	11.5%	107	10.7	10.0% (10.0%)	218	22.9	10.5% (10.5%)	
	合計	3,247	145.0	4.5%	3,437	140.5	4.1%	-	6,900	295.0	4.3%

※2017年度より全社費用の配分方法を一部変更。尚、上記2016年度第2四半期累計と2017年度通期計画は当該変更を反映した数値

2017年10月26日

2017年度（平成30年3月期） 第2四半期決算 説明会

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next